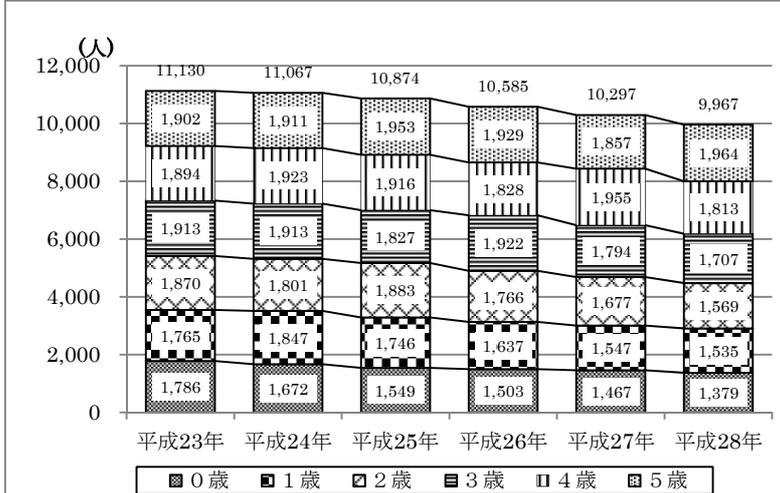


公立保育所・公立幼稚園のあり方【概要版】

1. 策定の趣旨

本市では、就学前人口が平成23年をピークに減少しています。公立幼稚園は定員を下回っていますが、保育需要の増大、多様化するニーズに対応するため、公立・民間の適正配置により保育枠の拡大を図ってきましたが、3歳未満児の待機が発生しています。このような中、子ども子育てをめぐるさまざまな課題を解決することを目的に、子ども・子育て支援新制度が施行され、子育てに関する新たなニーズや在宅子育て家庭への一層の支援、また公立施設として必要な役割を確実に果たすことが求められる中、その財源を確保する観点からも公立施設としてのあるべき姿を再検討し、再編整備のための基本的な考え方を明らかにするために策定します。

■就学前人口の推移



■平成29年度 公立保育所・公立幼稚園等一覧表

	施設名	延床面積 (㎡)	建築年	経過年	民間 (施設数)		
					こども園	保育所	幼稚園
北 部	鶴山台第一保育園 ◆	821	昭和48年	44年	6	0	3
	○鶴山台第二保育園 ◆	959	昭和50年	42年			
	くすのき保育園	1,364	昭和50年	42年			
北西部	国府幼稚園 ※	1,156	平成6年	23年	3	0	3
	伯太幼稚園	649	昭和58年	34年			
	国府第一保育園	1,035	昭和46年	46年			
	国府第二保育園	909	昭和49年	43年			
	和泉保育園 ※	1,188	平成7年	22年			
中 部	芦部保育園 ※	827	昭和51年	41年	7	3	2
	北松尾幼稚園	924	平成10年	19年			
	北池田幼稚園	585	昭和52年	40年			
	緑ヶ丘保育園	948	昭和49年	43年			
	北松尾保育園	888	平成4年	25年			
南 部	北池田保育園	1,008	昭和62年	30年	1		

○は平成30年3月末廃園 ※は借地 ◆は土地を都市再生機構より無償で借上げ
幼稚園のうち2園が建設後30年以上、保育所は7園で40年以上経過。保育所に小規模保育園含む。

2. 保育所等の状況

■保育所等入所状況

単位：か所・人

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
待機児童数	46	42	43	41	48	29	27	44
園数	公立	16	16	16	14	14	12	10
	民間	10	10	10	11	11	12	18
定員	公立	1,720	1,720	1,720	1,600	1,600	1,420	1,240
	民間	1,370	1,390	1,390	1,490	1,510	1,660	2,099
入所者数	公立	1,340	1,321	1,327	1,331	1,364	1,245	1,247
	民間	1,538	1,561	1,575	1,657	1,728	1,949	2,279
	計	2,878	2,882	2,902	2,988	3,092	3,194	3,526

(各年度4月1日)

■特別保育事業

保育ニーズは質的に変化し、かつ、多様化しており、保育所等は通常の保育だけでなく、さまざまな特別保育事業を実施しています。公立園と民間園で比較すると保育サービスに格差が生じています。民間園と同様のサービス水準を実現するためには、人件費などさらなる経費が必要となります。

	延長保育	長時間保育	乳児保育	障がい児保育	産明保育	一時預り	休日保育	夜間保育
公立(10)	10	0	10	10	3	2	0	0
民間(20)	19	4	19	15	16	12	1	1

(平成28年4月現在)

3. 幼稚園等の状況

■幼稚園等入園状況

単位：か所・人

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
園数	公立	6	6	6	6	6	6	5	4	
	民間	私立	13	13	13	13	13	13	9	8
		こども園							9	13
定員	公立	805	805	805	805	805	805	735	630	
	民間	4,320	4,320	4,320	4,380	4,380	4,380	3,956	3,868	
入園児数	公立	467	486	471	423	360	331	283	250	
	民間	2,804	2,740	2,851	2,926	2,953	2,905	2,832	2,690	
	計	3,271	3,226	3,322	3,349	3,313	3,236	3,115	2,940	

(各年度5月1日)

4. 保育所・幼稚園に係る経費の状況

保育所及び幼稚園に通う園児1人当たりの運営費を平成27年度決算でみると、公立保育所は1,226千円、民間保育所等は429千円、また、公立幼稚園は327千円、私立幼稚園は99千円で、公立は民間の約3倍となっています。このように、民間は公立に比べ市の負担が低く抑えられていますが、その要因は、国の施策として民間施設への支援が手厚くなっており、原則的に民間施設に対してのみ国・府から施設運営費や整備費等の負担金もしくは助成金が交付されるためです。

5 公立保育所・公立幼稚園のあり方

■見直しに当たっての基本的考え

- ① 公立保育所は、教育・保育の基本となる提供区域を北部、北西部、中部、南部の4地域としているが、南部地域には公立園はないことから、北部、北西部、中南部の地域に1園とします。
公立幼稚園については、入園希望者が多いこと、交通の利便性が高いこと等を考え合わせ2園とします。また、認定こども園化については拠点園となる保育所、幼稚園をあわせて1園とします。
- ② 民営化及び統廃合等の検討に当たっては、待機児童の状況、近隣地域の公立保育所・幼稚園・民間保育所・認定こども園・私立幼稚園の設置状況など、地域の実態を考え合わせます。

■見直しの方向性

① 拠点園化

公立保育所・幼稚園は、民間保育所、私立幼稚園等と比較して関係行政機関とのネットワークがある、地元の子どもが比較的多く入園しており、小学校や地域との連携を図りやすいなどの特色があります。これらを生かし、一部の公立園を、保育や幼児教育、子育て支援に関する調査研究、障がい児保育、特別支援教育の研究などを実施する拠点園にします。

6 公立保育所・公立幼稚園の拠点園についての基本的な考え方

■拠点園の役割について

拠点園は、教育・保育実施の中核施設として、本市の教育・保育水準の向上を目指すものであり、以下の(1)から(5)の役割を担っていきます。

- (1) 職員の資質向上
- (2) 障がいや発達に遅れのある子どもの教育・保育の充実
- (3) 養育に関して支援を必要とする子どもの保育
- (4) 幼保小の連携
- (5) 子育て支援の充実

■拠点園

	施設名
北部	くすのき保育園
北西部	国府幼稚園
	和泉保育園
中南部	北松尾幼稚園
	北松尾保育園

認定こども園化については拠点園となる中南部の保育所、幼稚園をあわせて1園検討します。
※認定こども園は、幼稚園と保育所の機能や特長をあわせもち、3～5歳のお子さんは保護者の働いている状況に関わらず、教育・保育を一緒に受けることができる施設です。